

菊友會報

第102号 2019年(平成31年)1月1日
 発行＝菊友会
 編集＝広報委員会
 <事務局> 東京都千代田区九段北 2-2-1
 千代田区立九段中等教育学校内(〒102-0073)
 TEL (03)3263-2448 / FAX (03)3263-1033

Web Site -- <http://www.kudan-net.com/> Mail Address -- kikyukai@kudan-net.com

～新春座談会～ 菊友会会長を囲んで

菊友会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。

お蔭様で菊友会も今年で90周年を迎えます。今後の菊友会の方向性を考えるというテーマで、金子元久会長、原田忠禮理事長、山崎 猛理事(元副理事長)、山崎幹彦総務企画委員長に高木昭美広報委員長を加えた5人で座談会を実施しました。

◇菊友会の課題

皆様ご承知の通り、関東大震災後の1924年創立の『第一東京市立中学校』の1回生184人が卒業するのを機に1929年(昭和4年)菊友会の前身、第一東京市立中学校同窓会は誕生しました。その後、『都立九段中学校』、『都立九段高等学校』を経て現在の『千代田区立九段中等教育学校』へと変遷し、今春には中等10回生が卒業します。その中で脈々と伝統を継承し、毎年菊友会大会や至大荘懇親会などのイベント、母校への支援としてクロスカントリーレースの入賞メダルの提供、校舎玄関などに飾られた生け花用お花の提供、伝統継承ホームルームの実施などを継続しています。しかし①連絡の可能な会員数の減少、②主催イベントへの参加者の減少、③維持会費納入者の減少、④来年度は郵便料金・ゆうちょ払込み手数料などの値上げ・消費税率UP等が予定される。等々多くの課題を抱えています。

◇菊友会の機能

金子会長からは、東京都から千代田区への移譲と中高一貫教育校への変化という、制度の断絶が意識の断絶に繋がっているのではないかと、これを乗り切っていくことが大切。菊友会は、会員のコミュニケーションを図る組織として、また母校に貢献することを会員の皆様から期待されている。とご意見がありました。

1番目の機能としては多くのイベントを開催していますが、参加者が年々減少傾向

にあることを理事会として大きな課題と認識しています。しかし、具体的な対策が打てていないのが現実と思います。もっと菊友会をPRし、理解を深めていただくような取り組みが必要。その有効な手段として、ホームページを充実・活用していくことが今の時代には大切だと思います。

2番目の機能としてはこれからキャリアを積んでいく現役生や学生会員に積極的に関わっていくことを考えていきたい。例えば菊友会の多種・多様な人材を活用して、キャリア教育などでもっと貢献できるのではないかと考えています。

◇広報の充実、改善

他の出席者も、現代のネット社会の中、Web・ホームページの活用が重要。しかし現在のホームページは評議員会でも指摘されている通り、記事の更新や使い勝手の面からも改善の余地が多いとの意見で一致しました。また会員はそれぞれの分野で経験を積んだ方ばかりで、就職を控えた若い人には良い相談相手になれるはず。特に現役生・学生会員が気軽に参加できるような場を作るなど、若い世代の方にも期待される菊友会を志向していくべきとの意見で合意しました。これからの菊友会の歩むべき方向が少しずつ見えてきた様に思います。



左から金子会長、山崎(猛)理事、山崎(幹)理事、原田理事長

◇期待される菊友会に向けて

菊友会が今後少しでも期待される同窓会へと成長していくためにも、まず初めに①ホームページを見やすく改善。また財政がさらに厳しくなり、従来からの努力・経費節約等では限界であり、②会報に関して、発行回数や全会員への郵送などの見直し。それぞれの分野で努力をされ、多くの経験を積まれた先輩会員の貴重なお話を、③若い会員が気軽に聞くことができる場作り。

この3点を中心に今後の菊友会活動について積極的に検討していくことにしました。会員の皆様と同様に、会長をはじめ多くの役員・理事も、社会に出て長く経験を積み、苦勞していく中で、「九段での学校生活が自分の原点」と感じているようです。そして少しでも母校に恩返しをと思っています。一度にはできませんが、一つずつ努力していくことを確認して終了しました。

(原田忠禮・高21)

2019年度菊友会行事カレンダー

あけましておめでとうございます 今年も菊友会発足90周年!

- 4月 11日(木) 菊友ゴルフ大会:石坂ゴルフ倶楽部(受付中)
- 5月 18日(土) 評議員会:九段中等教育学校会議室、懇親会
- 8月 24日(土)～25日(日) 至大荘懇親会:至大荘
- 10月 20日(日) 菊友会大会:ホテルグランドパレス
- 10月 27日(日) 第27回東京校歌祭:杉並公会堂
- 11月 17日(日) 関西菊友会総会:大阪キャッスルホテル

- ◇秋の菊友ゴルフ大会(日時・場所未定)
- ◇高21回 卒業50周年記念同期会 6月1日(土)
- ◇高46回 卒業25周年記念同期会 開催年です



挿絵:持田 悟(高18)

平成30年度も盛大に！菊友会大会



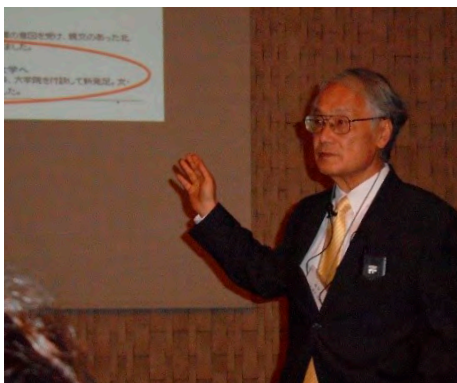
赤司菊友会顧問のご挨拶

10月21日、平成最後の菊友会大会をホテルグランドパレスで開催。まず、原田理事長の挨拶。第一部は、金子菊友会会長の特別講演「日本の大学—現在と将来」。長い間教育界に身を置いた金子会長の講演は、興味深いものがありました。

第二部懇親会。金子会長の挨拶、ご来賓挨拶は千代田区教育長の坂田融朗様、九段中等教育学校副校長の盛谷 樹様、P.A.副会



新会員の中等9回クラス委員



講演中の金子菊友会会長

長の廣瀬征由様から。他にご来賓は、千代田区教育委員会子ども部教育担当部長村木久人様、P.A.副会長の飯塚ミサ子様。恩師のご出席は、岡本 毅(高11)、会田睦晃(高25)、井上昭博(高32)の3人の先生方。赤司顧問の乾杯で開宴した懇親会は大盛況。会員の出席は73人(参加者合計80人)、最年長は中17回の飯島喜一郎氏。最年少は中等9回の新卒2人で、クラス委員としてご紹介。恒例の福引は、今回も提供者の皆様のおかげで豪華な商品ばかり。最後に持田副理事長の音頭で校歌と至大荘歌を全員で熱唱し、楯取副会長の音頭でお開き。

今年の菊友会大会は、菊友会発足90周年記念大会です。皆さん、一度参加してみたいかがですか？同期の懐かしい顔や、クラブ活動の先輩・後輩達の元気な顔がきっと待っているはずですよ。

(山崎幹彦・高21)

特別講演 金子元久菊友会会長 ～日本の大学—現在と将来

4年制大学への就学率はいま、50パーセントを超え、二人に一人は大学に行く時代になっています。しかし他方で、日本の大学教育の質はかなり低いものといわなければなりません。私たちが行った調査によると、一週間の学習時間が5時間以上の学生は4割にすぎません。これはアメリカでの8割と比べると大きな差があります。いわば密度の低い大学教育なのです。

この背後には、大学よりも職場での知識技能を重視する日本の企業のあり方があったと思います。しかしこれからは、社会経済の流動化、多様化が進みます。その中で活躍するには常に新しい情報を得て対処していく能力、またそれを支える人格が求められます。その形成には大学での自律的な学修がきわめて重要なはずですよ。ここ十年ほどの間にこうした点の是正が政策課題になってきましたし、大学にも変化は生じています。しかし本格的な大学教育改革はこれからの課題だと思えます。

景品をご提供いただいた皆様(敬称略)			
高4回	大井基臣	高17回	楯取能彦
	一島英治		高橋暁子
高7回	桑田芳郎		野本俊輔
	宮島 徹		八橋康則
高9回	岡田 繁	高20回	金子元久
高13回	稲坂良弘	高21回	原田忠禮
	村井 温	高31回	福田 隆
高15回	赤司久雄		石渡恭子
高17回	井上良夫	高39回	相原 學
			公益社団法人九段

ありがとうございました。

関西菊友会総会 (第36回) 報告

11月17日、大阪キャッスルホテルにて42人の出席のもと、菊友会本部より多くの参加を得て開催。高橋暁子副会長の挨拶。講演では元JAXAの柳川孝二氏(高22)から「宇宙活動-探査の歴史と展望-」と題してH-1ロケットエンジン開発、宇宙飛行士の選抜訓練の経験から宇宙開発の変遷を分かり易く説き、フロンティアとは・・・宇宙に対する啓蒙を頂きました。懇親会は本部の役員・理事、元会長から母校の様子等を楽しみ聞き、遠路からの会員他から会への愛あるご挨拶を頂き、盛り上がりました。東

京の佐藤雅也氏(高38)、松岡 浩氏(高38)からも花束が届き、幅広いご支援に感謝。

恒例の関西菊友会ゴルフ会(第54回)は、11月13日武庫の台G.Cで行われ晴天の紅葉の下、和気あいあいと楽しみました。16年に渡る中村会長、養父副会長はこれで御退任。

次の37回総会は今年の11月17日。皆様のご参加を！ (湯浅良男・高14)



法人九段だより



明けましておめでとうございます
至大荘管理人2人(右写真)、盡性園管理人1人と事務局スタッフ4人の体制(左写真)で、今年も至大荘・盡性園が安全に活用できるよう全員で頑張っています。本年もどうぞよろしくお願いたします!!

事務局連絡：平日10時～16時
TEL 042-377-7446
FAX 042-379-9003
E-mail : s-houjin@kudan.or.jp
URL : http://kudan.or.jp/
(事務局長 青木俊行・高26)

* 法人九段は、至大荘、盡性園を管理している公益社団法人です。菊友会とは別団体ですが、綿密な連携をして活動しています。

年代を越えて楽しい至大荘懇親会 8月25日～26日



(撮影:百束英二・高25)

至大荘懇親会に参加して

私達高24回6組では毎年クラス会を行なっており、2年に一回は宿泊を伴ったクラス会を開催しています。昨年が宿泊を伴うクラス会の年で企画を練っていたところ、菊友会主催の『至大荘懇親会』があるとの情報に触れ、クラス会便乗を考えました。

そこでクラスメートに図ったところ、10数人の参加を得ました。また友だちの輪を

広げ、他クラスの仲間数人、ゴルフ組、至大荘懇親会担当理事の方を含め、高24回生は総勢19人の参加となりました。

車で至大荘入り口のトンネルを抜けると、そこは40数年前、高校1年の夏を過ごした懐かしい地であり、記憶が一挙によみがえりました。至大荘宿舎前の芙蓉ヶ浦広場で車を降り、前面の芙蓉ヶ浦は当時と変わらずの佇まいでありました。夕食前、そ

の広場で仲間と海を眺めながらの思い出話の語らひは、本当に楽しいひとときでありました。担任の片瓜先生も参加予定でありましたが急な都合で参加が叶わなかった事が誠に残念でありました。

夕食、懇親会、ビンゴ大会、花火大会、至大荘歌合唱、懇親酒席と遅くまで語りました。翌日はラジオ体操、朝食、勝浦朝市散策、バーベキュー大会と、皆さんと2日間、至大荘でたいへん楽しく充実した時を過ごすことが出来、良い思い出となりました。菊友会からのワインのプレゼントもあり、理事の方々に大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

(玉木茂・高24)



朝のラジオ体操

至大荘プレゴルフ大会

至大荘懇親会のプレイベントとして、勝浦東急ゴルフコースで開催。参加者23人。台風の余波が心配されましたが、曇りながら適度な気温で全員完走しました。優勝は赤司久雄(高15)、準優勝井上良夫(高17)、第3位小林紀子(高34)、ベストは赤司久雄、シニアベスト尾羽澤正敏(高9)、女性ベスト小林紀子でした(敬称略)。

(前田敏行・高18)



秋の菊友ゴルフ大会

10月4日、恒例、秋の菊友ゴルフ大会を石坂ゴルフ倶楽部で開催。参加者29人。秋晴れのゴルフ日和、素晴らしいコースコンディションのなか和気あいあい、楽しい一日を過ごしました。優勝は小林紀子(高34)、準優勝楢取能彦(高17)、第3位遠山ちづ子(高19)、ベストは赤司久雄(高15)、シニアベスト尾羽澤正敏(高9)、女性ベスト小林紀子でした(敬称略)。次回は4月11日石坂ゴルフ倶楽部で開催されます。皆様の参加をお待ちしております。

(前田敏行・高18)



東京校歌祭に参加して

11月3日(土) 杉並公会堂に於いて、26回目となる東京校歌祭が、20校が参加して開催されました。九段中等教育学校は12番目の出番、その前から理事の皆さんは、準備に大忙し。受付設営、会場案内のため場所の確認、校旗幟の組み立てを済ませて、小ホールにて現役の吹奏楽部、合唱部と共に、「花は咲く」、「校歌」、「至大荘歌」、「至大荘と共に」を練習しました。本番では練習の効果が発揮されて、他校に引けを取らない出来でした。終了後の懇親会にも参加、そこでも「至大荘ダンチョネ節」を全員で披露しました。



今年は、10月27日(日)、杉並公会堂にて開催予定です。たくさんの参加をお待ちしております。(大野和男・高21)



(撮影:内藤義弘・高24)

菊友会報第101号 記事訂正とお詫び

会報第101号の6頁「九悠会第7回総会開催」の記事の「渡部則男会長」は「渡部晋二会長」の誤りでした。関係の皆様にご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

(広報委員会)

中等 九段祭 2018 “make.believe” ～想像を形に～

九段祭は、中等では13回目。9月15日、16日に開催。「飲料の販売、電光掲示板を採用したディスプレイなどに苦労しました」と、大井聖也実行委員長(5年生)。食事の施設は公衆衛生上の理由から一切なくなりましたが、パフォーマンス(演奏、演劇等)、クラス劇、教室展示など、今回も充実した内容でした。その一部を紹介すると、①休憩室の壁に至大荘の写真を特別展示し、助手が解説役に。②九段への入学ガイダンスコーナーも設置。③文化部の展



示も工夫があり、特に書道部の実演や文芸部の作品集に才能の芽生えが。④クラス演

劇では看板、特に「テルマエ・ロマエ」のガラスアートが秀逸。⑤吹奏楽部の演奏では昔のOBが驚嘆。⑥ダンス部の演技は巷のアイドルよりかわいくて純真。そして「Top Of Kudan 賞(クラス演劇最高賞)」は、5年2組「累-かさね-」が受賞。

今の九段祭は、中学生と高校生が、まるで兄弟姉妹のように楽しんでいるように見えました。ほほえましい場面にたくさん遭遇した九段祭でした。

(高木昭美・高24)

復活！マスコミ菊友会(第11回)

6月13日、赤坂のCorusで第11回「復活！マスコミ菊友会」を開催。会費や場所を変えたことで昨年を20人以上上回る64人が参加。上は「幸せなら手をたたこう」の作詞家木村利人氏(高4)から、下は津田塾大生の戸根木希さん(中等8)まで。年齢幅なんと65歳の64人。J-WAVE会長齋藤日出夫氏(高19)、書道家高木厚人氏(高24)といった

方々から、いまみちともたか氏(高30)、よしうらけんじ氏(高41)、松永天馬氏(高53)らのミュージシャンに加え、日本臓器移植ネットワーク広報・普及啓発事業部長雁瀬美佐さん(高31)、タイル絵師石渡恭子さん(高31)、ナレーター三村ロンド氏(高45)やNHK「今日の料理」副編集長鷺尾有子さん(高49)などの初参加で盛り上がりました。(宮下英一・高31)



高20 卒業50周年記念同期会

梅雨空の6月23日、九段下のホテルグランドパレスに50年前の少年・少女121人が集合。米寿を迎えられた恩師の吉澤 貞先生(英語)と、20回生と区別がつかないほどお若い林 義雄先生(国語・古文)をお迎えして盛大に開催。開催のキャッチフレーズ“過ぎし青春の日々を語り合おう”の通り、参加者皆さん50年前に戻り、懐かしい話に花が咲きました。(山崎 猛)



高10 卒業60周年記念同期会

昭和33年(1958年)卒の高10回生は、卒業60周年を迎えた。これを記念して10月6日神田神保町のレストランで同期会を開催。2012年から7年連続の同期会。出席者は一次会72人、二次会33人。会は、昨年逝去した4人のための黙祷、坂上代表幹事の挨拶と乾杯。続いてあちこちで微笑と爆笑の輪が広がった。数年前は、立ったまま談笑する姿が見られたが、今回は最初に座った席からなかなか動かない人も多かった。宴たけなわのところで、ピン

ゴ大会。初めての試みで賞金もわずかだが盛り上がった。最後に全員が「校歌」と「至大

荘歌」に声を張り上げ、平成最後の同期会が終わった。(岡田 肇)



高25 卒業45周年同期会

25周年から5年ごとに行われている同期会。今回は10月27日アイビーホール青学会館にて開催。4人の先生をはじめ130人弱の出席。一次会、二次会とも同じ場所ですが2次会では1年のときのクラスごとにテーブルを。“えーっ1年のクラスなんか覚えてないよ”という声があちらこちらから。でも、名札には1年のクラスの番号が。1年生のクラス分けは新鮮でした。次回はいよいよ50周年!(赤木恵利子)



今の九段にはこんな生徒もいる！

～ ヴァイオリニスト河井勇人君 (4年生) ゆうじん

10月13日、九段P.A.主催の「くだんはアカデミー」(保護者の教養を高め相互に懇親する会)が校内で開催され、「第1部聞きたいむ」は、河井勇人君の演奏会でした。河井君は、2013年第67回全日本学生音楽コンクールヴァイオリン部門で第1位。2017年「若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール」で第1位。その才能は、すでに世界が認めています。

河井君は、突然のインタビューにも気軽に応えてくれました。

Q1 演奏と勉強の両立はとても大変では？

A1 演奏も学業も自分がしたくてやっていることなので楽しいです。



Q2 音大の附属高校からの誘いもあると思われませんが、九段の魅力は？

A2 僕が音楽作りで1番大事にしているのが純粋に曲に向き合い自分の感情やその作品の魅力表現すること。それを可能にするのが磨き抜かれた感性と確固たる技術、そして音楽を学術的に捉える理性です。友達や先生と過ごす充実した日々で感性を、勉強を通して体系的に学ぶ力を。九段では様々なことを学べるので良いです。

Q3 将来はどのような方向に？

A3 海外留学をし、世界で活躍できる音楽家になりたいです。

ピアノ伴奏は、河井君の幼馴染みの丸山凛さん(桐朋女子高等学校音楽科特待生。2015年Oxford Music Festivalピアノリサイタル部門18歳以下の部第1位)。

河井君は、チャイコフスキー作品をはじめ、数々の難曲や小品を多彩な奏法を見せながら実にのびやかに演奏してくれ、1時間にわたって先生方、保護者、生徒たちを大いに魅了しました。

すでに「次代のクラシック界を担う逸

材」と評されている河井君ですが、今はまだ16歳。九段での普通の高校生活も楽しみながら、その才能を大きく開花させていってほしいと心から願っています。

なお、九段P.A.の皆様取材のご協力に感謝申し上げます。(高木昭美・高24)

伝統継承ホームルームを実施

九段中等教育学校の一年生を対象に行う伝統継承ホームルームが7月11日に行われ、90年間の学校の歴史をスライドを使いながら駆け足で説明。皆、目を輝かせて聞いてくれました。初代成田校長のこと、校歌誕生の経緯、東洋一と謳われた校舎、校章、制服の変遷など。至大荘の説明の時は男性理事が水禰の締め方を指導。九段の良き伝統は、今も引き継がれています。

(長門由美子・高25)



一游会OB戦

10月8日、水泳部現役とOB/OGとの対抗戦(OB戦)を九段プールで開催。現役26人、OB/OG27人が集まり、下は中学生から、上は22回生まで幅広い方々が参加。現役・OB/OGともに全力で泳ぎ、互いに応援し合いながら、大変盛り上がったレースとなりました。

今回のOB戦でベストタイムを出せた現役も。会場からは祝福の拍手が起こり、仲間のベストを喜ぶ気持ちは変わらないな、と嬉しく思いました。現役の部長からは、「練習や大会の結果を通して、一游会へ感謝の思いを伝えていきたい」と話しており、その姿を大変頼もしく感じました。今年で一游会は90周年を迎えます。今後も水泳部のつながりが続くよう、OBとして支えていきたいと思えます。(長谷川貴史・高60)



菊球会だより(卓球部OB会)



昨年1月28日、第63回菊球会正月大会を、九段校舎剣道場(兼卓球場)にて開催。OB/OG15人、現役部員31人が参加。熱戦を繰り広げ、何と、今回も部員(4年生)が優勝。

OBの適切な指導で、現役が著しく成長しています。8月8日～10日には、九段校卓球部夏期合宿があり現役部員41人が参加。12人のOB/OGがコーチとして参加。OBが台を2台調達し8台体制を。空調のない体育館での合宿なので、部員の体調管理について顧問の先生方と綿密な打合せの上合宿。大きな事故もなく無事終了。高齢化の進んだOBの熱中症を最も懸念しましたが、無事乗り切ることができました。

(中嶋 覚・高15)



九段高柔道部還暦OB会

11月第3土曜日開催の還暦OB会は、最長老高7回から高27回まで29人の参加で恒例の新橋亭で賑やかに開催。今年は11月16日。高28回、高29回の参加を期待!

(山崎 猛・高20)

福田 隆氏(高31) 東京マイスターに

東京マイスターは、都内の極めて優れた技能者に贈られる賞です。福田氏は、九段ではテニス部で活躍。青山学院大学で経営学を学び、120余年の家業である江戸東京組紐の伝統技能を継承。江戸の粋を表現する組紐を自らデザイン、染色、組みまで一貫して行い、東大寺正倉院の古代組紐の復元作業等にも携わっています。平成27年東京都伝統工芸士、平成30年中央区功労者賞に続く受賞です。(高木昭美・高24)



バドミントン部70周年記念総会

9月1日、市ヶ谷のジャムオーケストラで70周年記念総会が開かれました。高11回の本間研一先輩から中等6回までの77人が参加。10年ぶりの開催でしたが多くの卒業生の顔がわかり、卒業生のつながりが強かった部活だと改めて感じました。次回の総会は5年後の75周年大会です。

(清水 顕・高41)



投稿ページ ~同期会・クラス会・OB/OG会など

お詫び：投稿文書は、一部短縮編集させていただきました。

高2 (中21) 同期会

10月9日新宿三井クラブにて24人で開催。菊友会小林紀子理事も参加、ご挨拶を頂く。北海道から参加の野村君の乾杯で開宴。在校時代の思い出、近況などの話題で愉快地過ごしました。次回は、定例開催日の最後で、東京會館で10月15日。再開を約し、秋山君の中締めで閉会。

(秋山和義・一色昭吾)



高5 菊五会に35人

日時：2018年6月9日(土) 正午～

場所：東京・四谷クラブ

参加者：35人(男25人、女10人)

今回は開催日を秋から春に変更した結果、半年に2回の同期会となった。「参加者が大幅に減るのではないか」との声もあったが、幸い前回と同じ人数が参加。気になったのは「今後、案内状は不要」との返信が増えた。会員が年を取ったせいもあるが、会自体がマンネリ化しているためかも。新しい時代を生きる知恵が求められているようだ。(後藤 基)

高12 喜寿同期会

10月27日神保町のレストランで開催(出席者66人)。殆どの方が喜寿を迎えた。我々の学年は男子クラスが3クラス、男女クラスが4クラスで、男子クラスの生徒は男女クラスの子に憧れがあったが殆ど知らない。にもかかわらず今では「男女仲良く話し合えるようになったんだなあ」と、ほのぼのとした“温かみ”と“懐かしさ”を感じた方も多かったのでは。これは九段高校の“温かみ”かも。皆を代表して一言。“九段高校ありがとう！”(谷貝友康)



高40 卒業30周年記念同期会

暖かく穏やかに晴れた11月10日飯田橋にて高40卒業30周年記念の同窓会を開催。総勢110人が一堂に会し、そのうち6人もの恩師も。幹事団が発足当初は、1クラス10人で80人集えば御の字かと思いきや、嬉しい誤算で想定人数を大きく超過。会場は少々窮屈でしたが、卒業後30年の時を超

高3 第30回菊朋会

11月8日、正午から有楽町の「綴」糖業會館で開催。出席者は27人。行方会長の挨拶、物故者への黙禱に始まり、特別参加の菊友会高橋暁子副会長と青木麗子評議員による菊友会近況報告の後、和やかに会食、懇談に入った。その後、会員全員による2分間スピーチが行われ、それぞれ在学中の思い出や健康問題など、時には口角泡を飛ばして熱弁をふるう人もあり、大いに盛り上がりを見せた。会員は86歳前後で、毎年の出席者は元気な人たちが固定化されている感があるが、まだまだこれからも続けようということでお開きになった。

(中川 繁)

高7 回生の集い

夏の七九会を、7月21日開催。猛暑にも拘わらず22人が参加。お互いの元気さを確認して八十路の過ごし方、笑いが一番!などと歓談。足が動くうちは七九会に出て来たいと意気盛んでした。

七九会ゴルフコンペ(第51回)は、11月1日佐倉カントリーで開催。今回は8人の参加者。秋晴れのもと元気一杯楽しくプレイ。次回は優勝幹事・森豊君のホームコース「磯子カントリー」で本年6月6日開催予定。7回生の集いは、今年も春、夏、秋の食事会と、春、秋のゴルフコンペを開催します。ご期待ください。(宮島 徹)



高26 同期会やりました!

10月13日、新宿の小田急ホテルセンチュリーサザンタワーで開催しました。卒業生85人に加え5人の先生方と菊友会から高木理事をお迎えしました。乾杯とともに、ここかしこで賑やかな談笑の輪が広がります。なごやかな時間が流れそろそろ一次会も中締めという頃…、ロックバンド「J-WALK」のリーダー-知久光康君(8組)が登場しました。サプライズのギター演奏に参加者は大喜びで盛り上がりは最高潮に達します。その熱気は二次会でも衰えず、予

えて九段生・恩師との距離がグッと縮まり和気あいあいと大盛會に。次の5年、10年、更に先の節目の同窓会に、九段生・恩師ともにお変わりなくまたお会いできることを！(代表幹事 李 和則・4組)



高4 至高会開催

1952年卒業の高4回生は、今の天皇陛下と同学年で、小6(当時は国民学校)で終戦を迎えた世代だ。昨年84・85歳を迎えた。毎年開催の「至高会」は、今回で第65回。残暑を避けて10月第3金曜日に変更した10月12日に、会場のホテルグランドパレスに26人が参加。菊友会横田理事も駆けつけてくださった。初参加のメンバーもあって大いに盛り上がった。今年10月(第2金曜日)11日の会場を予約し、再会を誓った。(長谷川 明)



高9 九九会開催

2年に一回開く九九会(都立九段高校第9回同期生の会)。会員の殆どが80歳を迎えるのを記念した「傘寿の会」を、9月10日飯田橋の東京大神宮マツヤサロンで開催。同伴介護者4人を含む70人が集まった。幹事長の羽鳥徹郎君の「案内状に平成最後の九九会と書いたが、これが最後の九九会ではありません」というスピーチから始まり、参加者全員に配られた、俣木盾夫君の尽力で集められた宣伝用のノベルティが詰められたお楽しみ袋と昔話で、終始和やかな2時間を過ごした。(海野 暁)



定時間を大幅に超過してのお開きとなりました。写真は熱演する知久光康君です。(薄根義信・7組)



高27 卒業43周年同期会開く

高27回(昭和50年卒)の同期会が、10月6日、南青山のアイビーホールで70人を超す参加者と、恩師の太田 弘、村木逸子、増田三郎の3先生のご臨席を得てにぎやかな雰囲気の中で開催された。

まず他界された仲間黙とう。中井代表幹事から開会の挨拶、菊友会伊藤ユリア理事からご挨拶、篠原幹事の乾杯の音頭。このころにはテーブルの上に早くも空きビンが！恩師の各先生から一言ずつスピーチ。お元気さと話術の巧みさに一同あらためて感動。記念写真、校歌斉唱。～今更ながらいい歌だなあ

～。「至大莊歌」も全員で合唱。景気よく三本締めでお開き。続く二次会は、8割以上はそのまま出席、クラスのワクを超えて歓談が続いた。血気盛んだった九段健男女も還暦を過ぎ、お互いの健康を祈り「またね！」と2年後の再会を期して散会。

※当日司会幹事：伊藤直司 (中井健一)



高17 3年4組クラス会

銀座5丁目のシンガポールレストランに17人が参加。かれこれ50年、恩師佐藤周蔵先生の人望と畑田 悟君の支えで続いていましたが、クラス会当日、佐藤先生のご子息から喪中ハガキが。先生が94歳の天寿を全うされたとのこと。数年前のお手紙では「君達一人ひとりが存分に生活と取り

組んでいけることを祈っている」と。クラス会は先生の思い出話、近況報告。偶然にもレストランのマネージャー齊藤 拓氏(高56)が卒業生と判明。齊藤氏のスピーチも。九段高校の変遷や伝統に驚き、感動。九段OB同士の邂逅に大いに盛り上がりました。

佐藤周蔵先生のご冥福を心よりお祈りいたします。(村上晃三)



高29 3年8組クラス会

神楽坂にて還暦記念のクラス会を開催。昨年急逝した田中宏治君を偲ぶ会も兼ねて25人参集。献杯後、徐々に盛り上がり3次会まで。年金、家族等色々問題を抱えながらも、人生の第2のスタートライン、これ

高19 トーク会

4月、晴れた春の日、盡性園でテニス会を開催。参加者が年々減少し残念ながら25年続いたテニス会もこの日がファイナル。盡性園との別れを惜しましました。11月、富士小山GCで第46回ゴルフコンペ。大雨の中、18ホールを回り切りました。天候が良かったのは9月、落語ランチ会。三遊亭ときん師匠(高46)の「親子酒」の一席。27歳差の同窓会トークを楽しみました。

(青木麗子)



からの夢を語りあう楽しい夜だった。『死んでしまった人は死んでしまったわけだけど、きっと「思い」は残る。そして僕たちはその「思い」を受け継ぎ生きてゆく。』(「半分青い」より)。田中君！我々8組は、まだまだ「青い」ぞ！ (松永茂樹)



故・阿部 豊君(高30)の模造紙係として

「僕の身の上で起こったことはただの偶然。自分が研究してきたのは本質的なことであって、自分の本のなかで書くべきことではないと思う」

小学5年から同級生だった阿部 豊君の一言で著書である『生命の星の条件を探る』(文春文庫)の編集方針が決まった。実はこの本ができるまでには長い長い物語があったのです。

阿部君とはよく夏休みを合宿などで一緒に過ごすことが多かった。彼はもともと学究肌で、僕は密かに将来大学の先生になる

だろうなと考えていた。アリとキリギリスの譬えそのままに、彼は夏休みの宿題をやり、僕は合宿の最終日にそれを丸写しにしていた。中学時代の自由研究も、彼が「赤とんぼの生息分布について」と題する研究を行なった。それを僕が模造紙に清書し、ちゃっかり共同研究として提出、理科の教師から絶賛された。お恥ずかしい話だ。

僕の期待通り、べべたん(彼の愛称)は地球惑星システム科学の分野で世界的な業績を挙げ、東大の先生となった。しかし、2008年に彼の研究室を訪ねて衝撃を受けることになる。彼は人口呼吸器を付け車椅子に座っていた。病名は筋萎縮性側索硬化症(ALS)。その姿を見て、当時週刊文春の

編集長だった僕は心の中でひとつの決意をした。自由研究の元模造紙係として、彼の研究成果を一冊の本にまとめようと。

その実現には予想以上に、時間が掛かった。本の制作のために、2013年の夏から十コマの特別講義を聞いた。実に楽しく刺激的な話ばかりだった。なぜ酸素が大切なのか。地球表面の陸と海の割合の意味、プレートが動く謎、水という物質の不思議さといった彼の研究成果が語られた。

彼のからだの状況では、講義、そして執筆はもの凄い負担だったはずだ。最期に彼は「何がわからないことなのか、それが整理できたのは意味があった」と喜んでくれた。

本は2015年秋に出版された。そして阿部君は2018年1月1日、この世を去った。(鈴木洋嗣・高30・(株)文藝春秋)

逝去

会員専用ページでの掲出とします。

平成30年度維持会費 (平成30年4月～平成31年3月)

中1回	～	中21回	3,000円
高1回	～	高61回	3,000円
中等1回	～	中等4回	3,000円
中等5回	～	中等9回	1,000円 (減額期間)

●郵便振替 (払込み手数料は菊友会で負担)

※平成30年11月30日現在、今年度維持会費未納の方に維持会費納入票を同封いたしました。

※住所・氏名・電話番号・卒業回・個人コード(会報封筒に印字されている6桁の番号)をお書きください。

●銀行振込 (振込手数料をご負担ください)

三菱UFJ銀行	神保町支店	普通口座	: 0691551
みずほ銀行	九段支店	普通口座	: 1453238
三井住友銀行	神保町支店	普通口座	: 2111680
りそな銀行	九段支店	普通口座	: 1413234

※口座名義はすべて菊友会です。

※銀行から納入する場合、振込み人欄の先頭に個人コードをご入力ください。

理事会だより

定例の理事会は毎月第二金曜日に母校のメモリアル室で開催。年間の活動計画や予算案の作成、会員との親睦を図る会報の作成やホームページの維持管理などを実施。各月の理事会での主な内容を報告します。

●6月度●

今年度の新役員が千代田区教育長及び石崎校長を表敬訪問。法人九段社員総会に出席。九段定時制高校同窓会代表者と打ち合わせ、資料をメモリアル室で引き継ぐ方向。13日マスコミ菊友会に理事が参加。15日ホテルエドモントで開催のPA主催歓送迎会に楢取副会長、原田理事長が参加。

●7月度●

事務局の不要パソコンを撤去(データ消去も)。11日伝統継承ホームルームを実施(理事9人)。

●8月度●

8月25日、26日至大荘懇親会開催。ホームページの維持管理外部

委託契約を解約し、事務局、理事会に移行。日本郵便より来年度会報郵送費の値上げ要請あり、検討開始。

●9月度●

ゆうちょ銀行より払込み手数料値上げの連絡。入金金未納会員(中等9)の保護者あてに催促状を発送。

●10月度●

新任理事候補として中井健一氏・篠原慎一氏・伊井希志子氏(共に高27)を推薦承認。10月4日石坂ゴルフ倶楽部にて菊友ゴルフ大会実施。21日菊友会大会をホテルグランドパレスにて開催。24日6年生に菊友会及び登録票記入について説明会実施。27日に保護者への菊友会説明と入会金受付を実施。

●11月度●

11月3日杉並公会堂で開催された東京校歌祭に参加。9日理事会で新たに3人の理事を迎えた。17日関西菊友会総会開催、副会長・理事長以下7人出席。クロスカンントリーレース表彰メダルを発注。

菊友会事務局より

- ① 住所、改姓等会員情報の変更時には事務局にご連絡を!!
- ② 同期会・クラス会などで菊友会報未配達の方がおられましたら、名簿上では連絡先不明の方です。是非ご連絡ください。
- ③ 同期会・クラス会・OB会等の開催のお手伝いをしています。
- ④ ご連絡はFAX、メールで。火曜・金曜(11時～16時)は電話でも受け付けています。
FAX 03-3263-1033 ✉ kikuyukai@kudan-net.com

原稿のお願い 締切りは5月17日(金)

次回103号菊友会報に原稿をお寄せください。同期会・OB会の開催の楽しい報告や母校の思い出など、250字程度、写真は500KB程度で事務局までメールまたは郵送してください。中等卒業の若い方々の投稿大歓迎です。

維持会費納入のお願い

維持会費を納入していただいた会員は約1,560人で、納入額は昨年10月末現在で、約469万円となりました。会員の皆様のご協力、ご支援に感謝申し上げます。しかしながら、納入会員数も合計金額もたいへん厳しい状況にあります。

現在、菊友会では、連絡先の不明な方を除く約14,000人の会員の皆様に年2回の会報を送りしています。そのほか菊友会各行事、同期会への支援や祝

金、母校への毎月のお花や、クロカンのメダル提供などを実施しています。昨年度も、経費節減等に努めましたが、残念ながら維持会費減少分をカバーしきれませんでした。今年度は各行事への参加者増を目指して、更なる改善を図っていきます。会員の皆様におかれましては、是非菊友会各行事へのご参加と、維持会費の納入にご協力をいただけますようお願いいたします。
(会計委員会)

同期会などのお知らせ

同期会・クラス会・OB会などのお知らせ欄です。ご活用ください。

高15 同期会のご案内

日時: 2019年9月21日(土) 12:00～

会場: 「銀座ライオン7丁目店」

6Fクラシックホール(東京都中央区銀座7-9-20 銀座ライオンビル) ☎03-3571-2590

会費: 7,000円

連絡先: 各クラス会幹事

高19 同期会「古希の節目記念」

日時: 2019年6月8日(土) 17:00～

会場: 神楽坂「ラリアンス」

会費: 10,000円(ミシュラン1ツ星フレンチ) 思い出に残る会にしたいと思いますので是非是非ご参加を!!

☆3月中に案内状を郵送します。(遠山ちづ子)

高21 卒業50周年記念同期会

日時: 2019年6月1日(土) 14:00開宴

会場: ホテルグランドパレス 会費: 8,000円

連絡先: 原田昭雄

一游会 90周年を祝う会のご案内

日時: 2019年11月30日(土) 17:00～

会場: 都内の会場を予定

参加: 会員および新旧顧問の先生・コーチ

幹事: 高田明夫(高32・問い合わせ ✉ atakatajp@gmail.com)

菊友囲碁会 ～活動状況と参加のお願い

菊友囲碁会は、現在約18人。碁会を年に6回程度。70代、80代が中心ですが、若い方の参加を歓迎します。メンバーの棋力は、初段～6段ですが、級位の方も歓迎。神田の「いずみ囲碁ジャパン」が定席。会のあとは懇親会も自由参加で。都立高校交流囲碁戦にも参加しています。

幹事 野口弘明(高8)、小泉正之(高18)、藤岡和男(高18・問い合わせ ☎090-6523-1060 ✉ fujiokakazuo@road.ocn.ne.jp)

編集後記

会報を作成するにあたり2、3ヵ月前から準備しますが、毎回ってくる案には感心するばかりです。皆様に喜んでいただける会報になるようにと思いながら一同がんばっています。
(赤木恵利子・高25)